

新時代



一般社団法人 奈良青年会議所

2025年12月発行 通算 458号

【題字】 薬師寺 高田好胤師

対談
企画

フリーアナウンサー

第66代理事長

三代澤 康司 × 米澤 弘朗



INDEX

- p2 2025年度理事長挨拶
- p3-5 対談企画 三代澤康司×米澤弘朗
- p6-7 2025年事業&例会 活動報告
- p8-9 組織図&メンバー紹介
- p10 新入会員紹介
- p11 委員会活動紹介
- p12 ジェシナクラブ&新規入会案内

撮影場所：春日山原始林

根付く 拡がる 核となる



第66代理事長

よねざわ ひろあき
米澤弘朗

本誌を手にとっていただき、ありがとうございます。奈良青年会議所（奈良JC）の二〇二五年度理事長の米澤弘朗です。

私たち奈良青年会議所は、文化・社会・経済の発展や青少年の育成など、さまざまな分野で活動を行い、奈良のまちが明るく豊かになることを目指しています。

「こんな未来になったらいいな」と希望を抱きながら、まちの課題解決に向けてメンバー同士で議論を重ね、行政や企業、各種団体の皆さまと連携し協力を得ながら、さまざまな運動を発信しています。その活動の中で、私たち自身も仕事や家庭、そして人生に活かせる多くの学びを得ています。

二〇二五年度は、私たちの発信する運動が、まちがより良い方向に進むための原動力となることを願い、「根付く拡がる核となる」

をスローガンとして、特に子どもの権利や奈良の文化に焦点を当てた運動を行ってきました。

本誌を通じて奈良青年会議所のことを少しでも身近に感じていただければ幸いです。そして、これを読んでいただいた皆さまが私たちの行う事業にお越しいただいたり、協力しながら共に事業を作り上げるなど、新たなきっかけとなれば、これほど嬉しいことはありません。



対談

奈良で伝える、

奈良を活かす

フリーアナウンサー

第66代理事長

三代澤 康司 × 米澤 弘朗



■ 2人のルーツと奈良

米澤：今日はよろしくお願いします。

僕は徳島出身で、弁護士として働くにあり縁あって奈良に来ました。三代澤さんも、生まれは大阪で、途中から奈良に來られたんですよね？

三代澤：そうですね。ただ、中学に上がる時に奈良に引っ越してきたので、ほとんど奈良育ち。感覚的にはもう「奈良人」ですね。

米澤：では、大阪に対してルーツを感じたりは？

三代澤：ないんですよ。むしろ「ほんまの奈良出身じゃない」という後ろめたさが少しある（笑）。

米澤：確かに、生粋の奈良県民は特に奈良愛が強いと感じます。奈良の人って、奈良をちよつと卑下して話すけど、実は心の奥に誇りがある。

三代澤：そうなんです。奈良は「いにしへの都」。文化の起源がここにあつて、それに気づいている人・知ってる人ほど奈良への愛着が深い。皆、誇りを持つてるんです。

■ 歴史ロマンが息づくまち

米澤：いま、奈良の文化を発信する事業を構想しているんです。観光客も増えてますが、どうしても表面的に「古都っぽい」部分だけ見て帰ってしまう。奈良の人が本気で語らないと、本当の良さは伝わらない気がする。

三代澤：本当にそう思います。奈良の本質って、平城京の時代よりももっと古いところにある。卑弥呼がいた「邪馬台国」も、私は奈良だと信じてます。

古代の大和政権から飛鳥、藤原京、そして平城京へと続く流れの中で、日本の国家や文化の礎ができた。しかもその頃の奈良はすでに国際都市だったと思う。シルクロードを通じてペルシャの人も來てた。寺院の柱がエンタシス（ギリシャ風）なのもその証拠。つまり奈良は、世界とつながっていたまちなんです。その当時から奈良の文化は絶対あつたはずで、そういうものがまちに根付いている。

米澤：まさに「大和は国のまほろば」ですね。

三代澤：そう。そんななかで私がロマンを感じるのが木簡（もつかん）で、それを見ると当時の庶民の息づかいまで感じられる。「給料少ない」「酒が足りん」なんて愚痴も書かれてる（笑）。千年以上前の人も、同じように働いて、悩んでたんやと思うと親近感がありますね。

米澤：そういった魅力を感じ始めたのはいつ頃からでしょうか？

三代澤：おそらく30代から40代にかけてですね。学校で習った時は、奈良の良さってなかなか理解できてなかったんですよ。自分が山あり谷ありのいろんな苦労も含めて年齢を重ねてきた上で歴史を見直してみたら、ものすごいロマンと感動があるんですよ。

■ 時空を超える風景

三代澤：それと、奈良のもう一つの「大人になってからこそ分かる「古のロマン」というのは、奈良の：日の出前と夕方の日没すぐ。山の稜線が東側にも西側にもありますが、その朝や夕方の稜線の美しさは千年前とほとんど変わらない。あの光を見ていた人たちが同じように



三代澤康司（みよさわ・やすし）
三郷町在住。朝日放送でアナウンサーとして37年にわたり活躍し、エグゼクティブアナウンサーも歴任。2021年定年後はフリーへ転身し、ABCラジオ「ドッキリ！ハッキリ！三代澤康司です」を長年担当。そのほか講演やクラシック音楽の司会など、多彩な場で活動を広げている。

「今日もいい一日やったな」「さあ今日も仕事や」って思ってたんやと思うと、胸にくるものがあります。

米澤：その風景をどこから見るのが好きですか？

三代澤：夕日を見るなら…二月堂です。50歳を過ぎて半世紀生きたらようやくわかるようになる。

出身が奈良高校だったので夕方まで奈良市内にいたはずですが、青春時代に夕日を胸に刻むには、なんか海がないとあかんような…。

米澤：徳島の鳴門出身の僕としても、それは完全に同意ですね（笑）

■ 若者の奈良離れと発信の難しさ

米澤：奈良はやっぱり若者の流出が激しいですよ。僕らも、奈良の魅力を県外の人に発信するとか県内の仕事の魅力を若者に知ってもらうといったテーマの活

動に取り組むんですが、難しいです。特に発信の仕方ですかね。

三代澤：おそらく発信っていうよりも、僕は「受け入れ方」が大事やと思うんですよ。「ようこそいらっしやいました、よく気づきましたね」っていう気持ち。奈良の魅力に気づいてくれた人を歓迎する心。お金を落としてくれてありがとうじやなくて、「あなた、よくここに気づきましたね」っていう、その人自身を認めるような受け入れ方。

米澤：そういう「気づき」へのおもてなしですね。

三代澤：そうそう。たとえば姫路城の瓦って、平群（へぐり）の瓦なんです。奈良の技術が他の文化を支えてる。で、おそらくそこで働いてる若い人たちは気づいてるんですよ。

「これはすごい」「これ魅力や」って。遷宮（せんぐう）みたいな行事を「一度

は経験してみたい」って思う人もいる。奈良にはそういう「文化を体験できる懐の深さ」があるんです。

■ 「ようこそ奈良へ」の哲学

米澤：僕自身も奈良に来るまで、奈良って排他的だと思っていましたが、実際はそうでもないですよ。昔都だった場所はプライドが高く、外の人を受け入れないとかではなく、どちらかというとPRが苦手なんです。言葉にするのが下手というか。

三代澤：だから奈良の人って「おいでおいで」とあんまり言わないのかも。それから「大仏商売」。大仏がいるから言わなくても来る、みたいな。いまなんてインバウンドであふれているけど、むしろ最近訪れてる方も知らない。こんな原生林であつてもちらほら見かけるし。

そういう人にはもうね、「ようこそ奈良へ」「よくお気づきになりましたね」って言いたいですよ。気づいたあなたは特別です、っていう気持ちで迎えたい。

米澤：ラジオも同じですか？

三代澤：そうですね。私がラジオに出会ったのは小学校5・6年生の時、中学校、大学生になってからもラジオから流れてくるものって、大人の世界なんです。自分より10年20年上の人たちが、「大人の社会ってこんなやで」「大人の世界ってこんなおもろいねん」って発信して。それが面白くてその世界に入っているの半ばになってもラジオやってますが、やはり若い世代にどう来てもらうのかはラジオ業界でもすごく大事で。もちろん「おいでおいで」と言っただけでそんなに来なかった。特にAMにはね。

米澤：僕もAMを聴き始めたのは実はここ数年で。多分世代が上がってきたからかな（笑）。

三代澤：僕はラジオで難しい話をしてるつもりはないけど、心構えとしていつもあるのは、それこそ米澤さんみたいな人が「おもろいな」と思ってくれたら、そのときに「よお来たな」「ここからおもしろい」っていう姿勢でお迎えする。だから発信力というより、受け入れ力。皆さんのようなJCの人が対象にするのは一つ下の世代から同世代だと思わんです。その人たちに、まだ気づいてないと思うけど奈良って深いから、この若いうちに知ったら先長いよ楽しいよ、ようこそよくここに気づきましたねと、そんな何か特別感を演出できるような、そういうものを催しも含めて出していけばいいんじゃないかな。

米澤：「おもてなし」ですね。

■ 子どもたちの声を育てるまちに

三代澤：ちよつと僕が聞きたかったのが『子どもの意見表明権』について。奈良青年会議所のホームページを見たら米澤さんの言葉の中にありますが、あらためて聞かせてください。

米澤：国連の子供の権利条約、日本も批准してるんですけどそこに大きな柱が2本あって「子どもの最善の利益」と「子どもの意見表明権」なんです。日本は子どもの最善の利益のほうが得意で、この子のためを思ってルールを敷いてあげると、この子にはこんな教育をみたいところはしっかりしています。一方子どもの意見表明権っていうのは、文字通り子どもにも伝える権利があるよというものです。言いたくても言えない…その理由

は様々ですが、そんな子たちが意見を伝えられる土壌を作ってあげるといえるか、言えるということ自体が重要という考え方です。

三代澤：意見を言おうとすると当然意見を持ってないと駄目ですよね。持たせるためには、子どものためにあれやこれやという大前提を作ってあげないといけないですね。

米澤：最善の利益と意見表明権は対局にもとらえられがちですが、あくまでも2本の柱なんですよ。おっしゃる通り、子どもにいろいろ教えてあげること必要だし、それがあってこそ意見表明できる。ただ意見表明をちゃんとできるようにならないと、その考える力もなくなるし健全な育成も阻害される。結局は主体性を育むことに繋がって、それが将来ちゃんと言うべきことは言える大人になったり、それを言うかどうか自分分

選べることなんだと気づく。もしかしたらその解釈も人によって違うかもしれないけど、僕は少なくともその主体性を育むということが子どもの意見表明権メインじゃないかなと考えています。

三代澤：子どもが言いたくて言えないのは、知識とか遠慮とかもあるでしょうが、もう一つは怖いっていうね。特に今なんて、発言の一部だけを切り取られたりとか、ネット上でそれがいじめに繋がったりとかで、意見言いたくてもなんか怖いみたいな風潮がありますよね。僕が子どものころから意見を言えていたのは、あの時代だったからなのかな。理事長の言葉にもあるくらいだから、今年も子どもの意見表明権に関する事業をしたんでしょ？

米澤：はい。奈良市役所にも協力いただいて、7月にイベントを開催しました。「子どもの意見表明権」という言葉を

説明しても理解が難しい小学校低学年の子向けで、遊びを通して自分の声を発信することを体感してもらうというコンセプトで、同時に親にもしつかり子どもの声を聞く意識付けをするという目的もありました。

三代澤：そうか。JCの皆さんもまさに子育て世代ですね。だからそういうのはものすごく実感としてあるでしょうね。米澤さんから代が変わっても継続していけば奈良青年会議所の特徴になりそう。

米澤：子どもだけでなく僕らも団体で行動する中で、何か言いたいことがあるけど言い淀んでいるメンバーについても、意見を聞ける素地をつくれたらと思うんです。僕たち青年会議所は「会議する団体」なので。

三代澤：そうか、会議をする団体か！皆さんの拠点は長屋王がいたあたりですね。その時代から会議してたんやろかね。木簡に愚痴を書きながら（笑）

米澤：悠久の時を超えて（笑）

■「明るい豊かな奈良」とは

米澤：僕らの団体の根っこにあるテーマが『明るい豊かな社会の実現』なんです。これを明るい豊かな奈良としたら、どんな姿だと思いますか？

三代澤：そうですね。僕は「明るい豊かな社会」と「明るい豊かな奈良」は、全然違うと思うんです。「社会」は行政がすぐ関わってくるけれど、「奈良」はそこに生きる人ひとりひとりが「奈良」というこれだけ古の文化から築かれてきたその土地に、今生きているんだ。こんなに奈良って素晴らしいぞ」と奈良を誇りに思えたら、絶対に明るく豊かな奈良になると思います。

米澤：表現難しいんですけど、安売りしてほしくない。京都の文化が深く見えるのは、庶民の文化から皇族の文化まであって、その広さが深さに見えている。奈良は、文化の理解が難しい部分も多くてとっつきにくさがある。若い子には京都がわかりやすくおしやれに映るかもしれないけれど、ほんまに面白い奈良はわかりにくいけど知ったら面白い。住んでいてもわかりにくいけど、やっぱり知ってもらいたいな。

三代澤：知ってもらうためには、まず自分から知りに行くことです。外国の人や観光客が来るときに、あえて「そうなんです。ようこそまで知れましたね」というさっきの『ようこそ』のスタンスで「この文化の奥深さ、こっからおもしろいぞ」と迎えるような準備をしておく。

米澤：奈良を知って、奈良に「ようこそ」気づいてくれました」とお迎えする。明るい豊かな奈良を目指すには、まず「受け入れる力」を磨くこと。そして、その思いが地域に根付き、人から人へ拡がり、やがてまち全体の核となる。そんな循環を生み出せたとき、このまちは本当の意味で明るく豊かになると思います。本日はありがとうございました。

三代澤：ありがとうございました。





7/12

青少年企画例会 こえのまちをたすけよう

「子どもの意見表明権」について理解を深め、認知を広めることを目的とし開催しました。多くの子どもたちが参加し、「声」をキーワードに、元気いっぱい&笑顔あふれる時間となりました。ここで集めた子どもたちの声を奈良市に届けました。



8/2

いこまどんどこまつり

生駒市において開催された「第24回いこまどんどこまつり」に参加しました。奈良JCが生駒市で毎年携わる活動です。昨年に続きドリンク販売ブースを担い、生駒市長や奈良JCOBの方々からもねぎらいの言葉をいただきました。



8/5
～14

なら燈花会

8月5日～14日、奈良公園を中心に「なら燈花会」が開催されました。1999年から続く夏の風物詩として定着しており、奈良JCは興福寺会場と春日大社会場の運営を担当しました。来場者の皆さまに奈良の幻想的な夜を楽しんでいただきました。



8/9

郡山うねめまつり

8月9日・10日、福島県郡山市で開催された「郡山うねめまつり」に参加しました。郡山JCとは姉妹JCの関係にあり、互いの采女まつりに毎年参加を続けています。温かいお出迎えや多彩なアトラクションを通じて、親交がさらに深まりました。



9/13
9/14

地区大会 乙訓大会

9月13日～14日、近畿地区大会乙訓大会が開催されました。「未来を創る、一步をいま」をテーマに、自らの行動で未来を切り拓く姿勢を促す機会となりました。奈良青年会議所も地元企業の開発した、新作アイスを出品しました。



10/6

奈良采女祭

10月6日、奈良采女祭が開催されました。姉妹JCである福島県郡山JCの皆さまにもご参加いただきました。当日は警備業務を担当し、「花扇奉納行列」にも参加しました。奈良の歴史ある伝統行事に携わる貴重な機会となりました。



10/10
～12

全国大会

10月10日～12日、「Plus Ultra～理想の先へ～」を大会テーマに全国大会佐賀大会が開催されました。次年度に向けた会頭紹介や各種セミナーが行われ、また、今年度で卒業するメンバーの卒業式も実施されました。



10/19

わらべうたフェスタ

10月19日、ならまちわらべうたフェスタが開催されました。わらべうたに出てくるような、昔懐かしい遊びや風情が感じられるイベントでした。奈良JCはならまちセンター前広場でフランクフルトを販売し地域の方と交流いたしました。



11/14

卒業生講師例会

11月14日、職業やJC歴の違う卒業生たちが講師となり現役会員に思いを伝える、奈良JC伝統の例会を開催しました。卒業生と新入会員が準備をともにして作り上げたこの例会では年度の終わりに向けてさらに結束を高めました。

2025年度 事業 & 例会 活動報告




新年会

奈良ホテルにて「新年会」を開催しました。2025年度奈良青年会議所の幕開けを祝う例会であり、外部からも89名のご参加をいただきました。盛況の中、今年度のスローガンや組織体制、実施予定事業を地域関係者へ発信しました。



入会式

奈良ホテルにて開催し、1月に1名、8月に10名の新入会員を迎えました。現役メンバーは総勢40名となり、年末までこの体制で一丸となって活動してまいります。新入会員の詳細はメンバー紹介ページでご覧いただけます。



なら瑠璃絵

春日大社・興福寺・東大寺を中心に「しあわせ回廊 なら瑠璃絵」が開催されました。奈良青年会議所は地元の青年団体として、初日のオープニングセレモニーをはじめ、期間中連日スタッフとして参加し、運営に協力しました。



Re:ゼロから学ぶ生成AI

生成AIの利便性とリスクを理解し、新しい技術に対応できる力を養うことで、資料作成の高度化と会員のスキル向上を目的に開催しました。AIによる議案作成や音楽生成などを実際に体験し、活用方法を学びました。



OB 懇親例会

ザ・ヒルトップテラス奈良にて「OB 懇親例会」を開催しました。多くのOB会員の皆さまにご出席いただき、担当委員会によるクロージングシチュエーションコントを通じて、場を盛り上げながら会員拡大への関心を高める有意義な機会となりました。



万博天平行列

毎年平城宮跡で行われている天平行列が、今年は大阪・関西万博2025に参加しました。奈良青年会議所のメンバーも例年同様に参加し、世界中から人々が集まる万博の場で奈良の魅力を発信する貴重な機会となりました。



公開討論会

6月25日、奈良市長選挙の選挙啓発活動として公開討論会を開催しました。有権者の皆さまに立候補予定者のそれぞれの考えや政策を直接聞いて知っていただく機会を設け、公平に比較・検討できる場となりました。



奈良ブロック大会 吉野大会

金峯山寺蔵王堂にて奈良ブロック大会吉野大会が開催されました。奈良県内各地からJCメンバーや一般来場者約1,000名が集うなか、奈良青年会議所も奈良漬体験ブースを出展し、地元の食文化の魅力を発信しました。

正副 役員



理事長
米澤 弘朗
①わかくさ法律事務所
②弁護士



直前理事長
胎中 謙吾
①奈良市役所
②地方公務員



監事
中井 裕貴
①喫茶 アーガイル
②飲食業



監事
津布久 伊左男
①株式会社arXdesign-Lab
②建設業



監事
堀田 英一
①堀田電工
②電気工事 管工事



副理事長
岩本 悠佑
①社会福祉法人ききょう会
②障害福祉事業



副理事長
池田 将也
①やまと技建
②水道工事業



発揚室 室長
大島 康孝
①株式会社大島商会
②防災設備業



発揚室 室長
新谷 静隆
①便利屋お助けマスター
②サービス業



常任理事
河合 俊彦
①株式会社ひのり
②土木資材卸売業



専務理事
吉田 崇志
①株式会社LUCKRICE
②自動車販売

組織図

& メンバー紹介

①会社名
②業種

会員資質向上委員会



委員長
田村 侑史
①田村建設株式会社
②総合建設業・建設資材販売



副委員長
金児 崇行
①株式会社コンフィーステイ
②宿泊業



幹事
前川 雅人
①ソニー生命保険株式会社
②保険外交員



委員
下村 祐也
①株式会社ハンナ
②運送業



委員
山上 侑佐
①株式会社山上組
②総合建築業

総務広報委員会



委員長

坂井 勇斗

- ① 富士興行株式会社
- ② 製造業



副委員長

西田 素心

- ① 株式会社あしびや本舗
- ② 奈良漬製造販売・飲食・ブライダル・不動産



副委員長

若林 良仁

- ① 地域情報ネットワーク株式会社
- ② 広告・ポスティング業



幹事

清水 拓朗

- ① 株式会社アサコム奈良ニッセイシャ
- ② 小売業



委員

中村 圭佑

- ① 中村建設株式会社
- ② 建築業



委員

高浦 義昌

- ① 株式会社保険naracoco
- ② 保険代理業

地域活性化委員会



委員長

中川 崇

- ① 中川たかし県政相談所
- ② 奈良県議会議員



副委員長

駒井 崇志

- ① 積水ハウス不動産株式会社
- ② 不動産業



副委員長

吉岡 毅

- ① 春日大社
- ② 総務



幹事

大山 季恵

- ① Big Mountain Cafe & Farm
- ② 飲食店（カフェ）



幹事

河野 裕韶

- ① 南都大安寺
- ② 僧侶



委員

西條 功也

- ① 株式会社麻世勝エビス
- ② 観光人力車業

拡大アカデミー委員会



委員長

大宮 守雅

- ① 氷室神社
- ② 神職



副委員長

玉井 幸

- ① 個人会員
- ② 広告代理業



幹事

本田 泰

- ① なら酒蔵なべ
- ② 飲食業



幹事

古川 芽唯

- ① ArP
- ② 飲食業

野崎 準人



- ①株式会社野崎商店
- ②旗・幕・記念品等の販売業

マイブーム：旅行、ホテル巡り
好きな食べ物：お寿司大正12年創業で、旗や幕、カップ、トロフィー、記念品などを販売する会社をしています。

吉岡 沙也加



- ①株式会社チェリカ
- ②コンサルティング業

マイブーム：寝ながらトレーニング
好きな食べ物：韓国料理、タイ料理、桃
自身が難病を克服した経験を通してウェルネス事業をしています。できるだけお薬に頼らずに心身を整えたい方気軽に相談ください。



八木橋 悠介



- ①積水ハウス株式会社
- ②不動産業

マイブーム：阪神タイガース応援
好きな食べ物：ラーメン
奈良をよりよい街にする為に、住宅づくりもJCの活動も頑張りたいです！

山中 完仁



- ①株式会社奈良大仏堂
- ②宗教用具の販売

マイブーム：マインドフルネス
好きな食べ物：お寿司
JC活動、皆様のお邪魔にならないよう頑張ります

國松 大悟



- ①大宮通り法律事務所
- ②弁護士

マイブーム：ボルダリング
好きな食べ物：焼肉
一日も早くみなさまのお役に立てるよう、精進いたします。

芳林 貴裕



- ①わかくさ法律事務所
- ②弁護士

マイブーム：美味しいお店探し
好きな食べ物：麻婆豆腐
皆様から多くのことを学び、成長していきたいと考えています。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

紙谷 政詳



- ①大樹生命保険株式会社
- ②保険業

マイブーム：サウナ巡り
好きな食べ物：ラーメン
引っ越してきたばかりですが、大好きな奈良のために頑張ります！

谷本 望峰



- ①メットライフ生命保険株式会社
- ②保険業

マイブーム：ゴルフ&モルック
好きな食べ物：炭火焼き鳥
愛する奈良を盛り上げていきます！！

小島 正嗣



- ①一心堂株式会社
- ②筆墨硯紙、及び書道用品全般

マイブーム：キャンプ
好きな食べ物：インディアンカレー
地元奈良を元気に！

西岡 晃司



- ①株式会社ライフパートナーズ
- ②保険業

マイブーム：旅行
好きな食べ物：鮭、焼肉
生まれ育った奈良に貢献できるように頑張ります！

委員会 活動紹介

2025年度 各委員会が1年を通しての推進事業に挑戦



会員資質向上委員会

会員の資質向上を推進

会員資質向上委員会では地域のリーダーとなる人材を輩出することを目的とし、一年間「会員の資質向上」について推進事業をおこなってきました。メンバーとしてそして組織としてさらに邁進するためにも一人ひとりの意識を見つめ直し、より個人の長所を伸ばしていくためにJC活動以外でも必要な要素「リーダーシップ」「コミュニケーション」「資料作成」について事業を3回行いました。一年間を通じた結果として、メンバーの意欲の向上や目標設定の大切さを感じた等のメンバーの声がありました。

地域活性化委員会

ジェシナクラブの活動を推進

奈良青年会議所を応援するファンクラブ「ジェシナクラブ」との連携（活用）を推進しました。会員拡大しながら奈良市・生駒市の主要行事とともに奉仕し、地域の活性化に寄与しました。



拡大アカデミー委員会

会員拡大を推進

本年当委員会の推進事業として会員拡大の推進を担っております。拡大候補者リストの拡充目標延べ300名、入会候補者を対象とした委員会主催の交流会の毎月開催、拡大目標30名の3つの柱を掲げて活動しています。9月時点で拡大リスト130名、毎月交流会を計画通り実施、入会者10名となっており、まだまだ目標とは程遠い状況ではありますが、メンバーはもとより特別会員の皆様からの紹介もたくさんいただいております、仲間の輪がだんだんと広がり始めています。



総務広報委員会

まほらの在り方を推進

毎年、特別会員や地域に向けて発刊してきた広報誌「まほら」について、改めてその発刊目的や対象を検証する機会を設けました。アンケートやあり方会議を通じてメンバーの意見を集めた結果、「広報誌まほらのあり方提言書」を作成することができました。これにより、今年度からは発刊の目的や対象を統一した形で「まほら」を発刊できるようにしました。





変わる 出会う
なら、今！ 進む

よりよい奈良のまちづくりと、人づくりを共に

新入会員募集

奈良青年会議所会員資格について

- ① 年齢が満20歳以上40歳未満で入会年度から一年以上在籍できること
- ② 奈良市内・生駒市・田原本町・山添村に、自宅または職場（営業所・事務所など）があること
- ③ 他の青年会議所に所属していないこと
- ④ 青年会議所のメンバーとして人格・品位ともに優れていること
- ⑤ 国籍は問いません

入会に関するお問合せ・お申込

一般社団法人 奈良青年会議所 事務局

〒630-8013 奈良県奈良市三条大路1丁目10-43
FORESTSQUARE8階

TEL. 0742-93-9731

MAIL. info@nara-jc.or.jp

奈良青年会議所 ファンクラブ

ジェシナクラブ



ジェシナクラブって？

奈良JCの活動を応援してくださる型に向けたファンクラブです。奈良青年会議所は奈良の「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年団体として日々、様々な活動を応援してくださる方を募集しています！

【年会費】 ①個人会員 1口 3,000円
②企業・団体会員 1口 10,000円

入会方法は？

約款をご確認の上、入会用WEBフォームのコードよりお申込ください。



ジェシナクラブ約款



入会申込用Webフォーム